

全国地質調査業協会連合会 ジオ・ラボ ネットワーク事務局：協同組合土質屋北陸

- ・北海道土質試験協同組合      ・協同組合土質屋北陸      ・関東土質試験協同組合
  - ・中部土質試験協同組合      ・協同組合関西地盤環境研究センター      ・協同組合岡山県土質試験センター
  - ・協同組合島根県土質技術研究センター・協同組合広島県土質試験センター      ・宮崎県地質調査業協同組合
- なお、記事に関するお問い合わせは各組合へお願いいたします。

\*\*\*\*\*

## 【試験設備・その他更新】

### 北海道土質試験協同組合

<http://www.src.or.jp/>

#### ○今年度の試験設備更新を完了しました

当組合では、試験精度の更なる向上を目指して計画的に試験設備の更新を行っており、今年度の設備更新も完了いたしました。これからも皆様のご利用をお待ちしております。      (文責 平伸明)

#### <主な更新試験設備>

①走査型電子顕微鏡 (SEM) ・エネルギー分散型 X 線装置 (EDS)  
 ステージ 5 軸モーターステージ仕様、チャンバースコープ、ステージナビゲーションシステム、オフラインデータ解析ソフトにより、岩石・火山灰の化学組成分析、鉱物種同定、金属元素濃度マッピング、コンクリート劣化診断、アスベスト分析に利用できます。



#### ②3 連マルチ電動式一軸圧縮試験装置

3 連独立制御方式、載荷容量 20 kN、載荷速度 0.2~2.0mm/min、最大供試体径 100mm



#### ③熱風循環型大型乾燥機

外寸法 W2140×D1150×H1380mm、プログラム設定 PID 制御式温度調節、温度使用範囲 ~150℃ (±0.5℃)、200kg 耐荷重用 5 段棚板型



### 関東土質試験協同組合

mail to : [uketuke@kstc.or.jp](mailto:uketuke@kstc.or.jp)

#### <ホームページの更新>

10 月には、6 月から進めていたホームページのリニューアルが完成し、公開をしました。



組合員の方々に現在の試験所が持つ資機材と試験内容を詳細に伝えるとともに、発注者様への説明資料として物理・力学・岩石・材料に分けての資料を PDF 形式で出力可能といたしました。

所内ではホームページ運営 WG を立ち上げて、常に最新の組合情報を組合員および外部の方々に提供するとともに、組合員の方々からのご意見等も反映できるホームページにまいります。

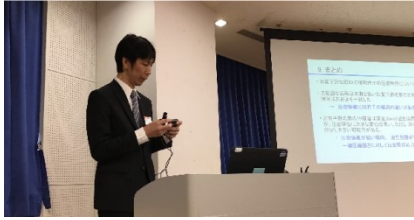
リニューアルホームページのトップ画面イメージ

(文責 池田)

【組合 活動報告】

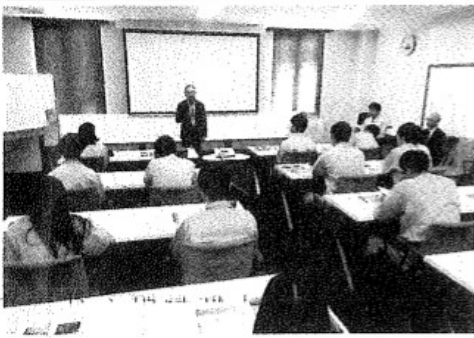
組合組合土質屋北陸

mail to : info@doshitsuva.or.jp



＜技術フォーラム＞で江守達弥副センター長が初めて発表しました。「E-1 地域地盤特性」カテゴリで「加賀平野北部の沖積粘性土の圧密特性」という題材です。協同組合土質屋北陸としては初めての発表者です。今後もこのような場で発表できるように人財育成を続けます。

石川県農業土木技術連盟主催の技術者向けセミナーを土質屋北陸で『土を学ぶ ～ため池の震災対策等に必要な調査・試験・設計について～』という題材で開催しました。当組合も土質試験実習で講師を務めました



池耐震設計の留意点について講義を受けたほか、土質屋北陸の講師が見守る中、実際に土質試験調査実習に取り組みながらスキルアップを図っていた。

石川県農業土木技術連盟の主催による農業土木技術者向けの研修会が17日、金沢市示野町西の「協同組合土質屋北陸」で開かれ、写真、参加した県職員ら18人は、ため池の震災対策に必要な調査、試験、設計方法について理解を深めた。同講座は、地震災害が多発する中、ため池の設計にあたって必要な調査、試験の進め方について、土質の物理的、力学的な観点から学んでもらおうと企画された。同連盟の北出一郎副委員長（農林水産部農業政策課技術管理室長）や土質屋北陸の森川和重専務理事があいさつし、参加者は県地質調査業協会や県測量設計業協会から派遣された講師からため池の設計、施工に関わる地質調査、土質試験の活用を中心とした、ため池耐震設計の留意点について講義を受けたほか、土質屋北陸の講師が見守る中、実際に土質試験調査実習に取り組みながらスキルアップを図っていた。

ため池の震災対策学ぶ  
 県農業土木技術連盟が研修会

(文責：森川和重)

協同組合広島県土質試験センター  
 技術フォーラムに参加しました

mail to : office@hiroshima-soil.jp

9月12（木）～13日（金）に岡山コンベンションセンターにて行われた「全地連技術フォーラム2019」に参加しました。私はこのようなフォーラムに行った事がなくまた、土質試験のみならず現場調査や解析技術など普段聞くことの無い話題に触れることができ、大変有意義な機会だったと思います。参加者の方の発表や資料を拝見すると、内容が分かりやすくまとめられており今後発表を行う際には参考にしようと思いました。

(文責：中原一貴)



**組合組合関西地盤環境研究センター**

mail to : [info@ks-dositu.or.jp](mailto:info@ks-dositu.or.jp)

2019 年度地盤工学会関西支部 実技セミナー開催報告

(公社)地盤工学会関西支部の第 61 回実技セミナーが当センターで開催されましたので、ご報告します。この実技セミナーは、2018.6.18 の大阪北部地震の発生により延期されたものを今年改めて開催したものです。「実技セミナー」の名の通り、参加者全員(20 名)が土質試験を体験して頂きました。スタッフ一同、参加者の充実感を感じた 1 日となりました。

実技セミナー内容

- ①講義 地盤調査・土質試験の概要
  - ②土質試験の実習 (一軸・液性・塑性限界試験)
  - ③試験設備見学 (液状化・材料試験)
  - ④試験結果の利用法 演習
  - ⑤講義 土質試験結果の活用例 : 中央復建コンサルタンツ(株) 八谷 誠
- } : 関西地盤環境研究センター 担当



開会挨拶をされる豊田支部長



実技セミナーの様子